

## 鹿沼市子ども・子育て会議 議事録

日 時：平成25年11月13日(水) 13時30分～16時00分

場 所：鹿沼市民情報センター 4階テレビ会議室

出席者：鹿沼市子ども・子育て会議委員

学識経験を有する者：高柳 恭子

子どもの保護者：荒井 正行、高根澤 秀明、渡辺 明恵

子ども・子育て支援に関する知識経験を有する者：

関口 直美、堀川 照子、田野井 輝恵、仲田 智子、小島 孝夫、

阿久津 真吾

関係団体から推薦を受けたもの：

茂呂 英運、岩本 雅子、大貫 毅、佐藤 誠、武田 淳子

関係行政機関の職員：田村 隆、佐藤 昭男、小森 基伊

(欠席者：細川 朋子、柴崎 君江)

事務局 5名

### 議事内容

#### 1. 開 会

#### 2. あいさつ

高柳恭子会長あいさつ

#### 3. 議事

(1) 「子ども・子育てニーズ調査」の調査票様式について

(事務局より修正点について説明)

・ 前回会議の際、対象を小学3年生までとしていたが、小学6年生までに変更

(変更前) 幼・保 2,726件 (変更後) 2,726件

就学前	1,241件		1,243件
小学校	1,416件	→	2,826件 (1,390件の増)

【修正部分についての質疑応答】

・ P1「ニーズ調査の意味」・ 「調査票の記入にあたって」

会 長：平たい表現で最小限に修正したが、この程度でいいか。

仲田委員：小学生用の5段落にあるカギカッコが抜けている。

田村委員：就学前用の「調査票の記入にあたって」の○5個目、幼稚園・保育園・学校を施設と  
いう名称でくくらない方がいい。

関口委員：就学前が対象なので、学校はいらない。

小森委員：丁寧に、「幼稚園・保育園へ」に修正。

関口委員：小学生用には「学校を通して配布された方は」とあるが、学校を通さずに配布  
されることがあるのか。市外の学校に通っている場合は郵送か。

事務局：郵送になる。

・ (就学前用) p2・ 3鹿沼市における教育・保育事業の実施状況

関口委員：小学生用に実施状況が添付されていないのはなぜか。

事務局：小学生でも利用する事業については追加した方が良ければ、小学生が利用する  
サービスを追加したい。

会 長：市で行っている事業を知ってもらうために全部入れるか。

田村委員：後から子どもが生まれるかもしれない。

茂呂委員：小学生対象、未就学児対象を分けた方がいい。

佐藤委員：つけなくてもいいのではないか。アンケートのため、市の事業を知らせるためのもの  
ではない。ニーズ調査のため、こういった事業を知っているのかどうかから調べるもの。せめてアンケートの最後に参考に添付してはどうか。

茂呂委員：アンケートと別刷りにし、アンケートを提出した後、手元に残せるようにするといい。

会 長：A4両面で小学生対象、未就学児対象の事業に仕分け、タイトルを大きく見やすくする。

関口委員：文字ばかりなので、途中にイラストを入れて柔らかくしてほしい。

仲田委員：p3ゆうとりんの開所時間が間違い。9：00ではなく10：00。

堀川委員：p2幼稚園預かり保育は「終業後」となっているが、そのような言葉は使わない。

「保育時間終了後」に修正。

武田委員：p3の児童館とは何か。

小森委員：保育園型児童館ではなく、南押原児童館を指している。児童館の下にカッコ書きで（南押原児童館）の記載を追加。併せて、通常の児童館については、p2の保育園の下にカッコ書きで（加蘇児童館・板荷児童館を含む）と追加。

阿久津委員：すべての事業についての問い合わせ先は、こども支援課こども支援係でいいのか。

電話番号はこども支援係のみ記載されている。

事務局：あくまで二ーズ調査用として考えてほしい。

・（就学前用）p6問11追加について

阿久津委員：その他には、他に合わせて( )を追加した方がいい。

・（就学前用）p9問14について

会 長：鹿沼市に現在ない施設について、現状では※マークあり、今後の利用希望は※マークなし。

事務局：今後の利用希望については、現在、市にある施設かどうかにかかわらず回答してもらうため。

・（就学前用）p11問18について

関口委員：⑤保育所の園庭等の開放については、私立保育園では休日には行っていない。

「公立」を追加。

・（小学生用）p11問21について

会 長：取得後の状況ア→「問22へ」については、イが削除になるので、不要。

小島委員：イが削除のため、ウはイに繰り上げ。

（2）その他

#### 【質疑応答】

荒井委員：（就学前用）p9問14「現在の利用状況」の選択肢があるが、例えば、「幼稚園の預かり保育」利用者は「幼稚園」に在園している園児なので、<<1つ選択>>はあり得ない。

事務局：代表的なものと考えていたが、ご意見を踏まえ、<<複数選択可>>とし、「主に利用している事業」の「主に」を削除する。

会 長：「今後の利用希望」については、今後の希望について聞いている。「希望するもの全て選択」の場合、全部選択してしまい、二ーズが見えなくなる。「優先順位をつけて3つ」、「3つ程度」の案がある。

関口委員：実際にやっていない事業について回答するのは難しいし、混乱する。1つ選択にしてしまうとサブ的二ーズが把握できない。

会 長：2~3つくらいにしないと、本当に欲しいものが見えてこない。

大貫委員：「3つ」と限定してしまうと、3つ選択しないといけないような気がしてしまう。<<複数選択可>>の方がいい。

会 長：限定は良くないので、「3つまで」にするか「複数選択可」か。

関口委員：この回答によって、今後、この事業を取り組むのか検討する基礎になる。

会 長：この部分の回答はわたしたちの会議に大きく響いてくる1番重要なところ。どういう

事業を市として考えていくのか検討していくためにも、なるべく本音を聞きたい。

武田委員：子育てで忙しいお母さんにとって負担になるので、とりあえず全て○をつけてくることも考えられる。利用したいものを限定した方がいい。

会 長：優先順位で回答か。

堀川委員：上で「現在の利用状況」を聞いているので、今、利用しているもの以外を選択するのだから、全て選択する人はいない。本当に利用したいと思うものを、複数選択でいいのでは。

小島委員：もともと1つ選択としたのは、ポイントを絞ってニーズを聞きたいから。

会 長：上位3つを選択していく方法でどうか。1～3位の優先順位を回答できる形式に変更。その時の希望日数、時間もリンクしてくる。可能か。

事務局：参考資料を別紙にし、欄を広げて、作り直す。

堀川委員：参考資料は別にしないよう方がいい。別紙にしてしまうと見ない。

関口委員：時間帯は不要かと思う。幼稚園を選べば、保育時間は4時間といったようにだいたいの時間はわかる。

会 長：日数を出すのは難しいが、時間帯は聞きたい。このような事業では網羅できない時間帯がある。

阿久津委員：参考資料は別紙に回さず、優先順位3つの記入欄を作成することは可能。

関口委員：保育園の一時預かり事業は含めないのでもいいのか。

荒井委員：療育機関を入れてもらいたい。あおば園は100人程度の利用がある。

事務局：ここにはない場合は、その他のカッコ書きの中に入れてもらえる。国で示した項目通りに考えたのでその形で示している。

会 長：100人もいるのであれば、その他ではなく項目に追加した方がいい。

関口委員：保育園の子育て支援事業についても掲載がない。

会 長：平日の定期的な教育・保育事業とのことだが、国の示している質問の想定としては、事業名としてというよりは、施設名として聞きたいのか。

事務局：そのような考え方。

大貫委員：クの「自治体の認証・認定保育施設」は選択する人はいるのか。幼稚園・保育園に入れたいが定員がいっぱいで入れないような場合に、認可外等いろいろ利用が出てくるのではないか。

事務局：イメージは横浜方式のものではないか。本市では行っていない。今後、そのような施設を望むかどうか。そこまでやっているところは確かに少ない。

会 長：無いわけではないので、抜かす必要はない。ただ、わかりにくい。

大貫委員：大きい施設だと子どもがなじめないような場合、規模が小さい施設で子育てを希望する人にはニーズがあるかもしれない。

会 長：鹿沼市では他が充実していればこの項目を選択する人は少ないかもしれない。人口過密地域では定員がいっぱいで可能性がある。入れても入れなくてもいい。国で示しているから入れているだけ。

荒井委員：他市の例だが、事業の説明を参考資料として別に記載するのではなく、項目ごとに利用金額や事業内容等具体的な説明を入れている。そうした方が現在、利用していない人がわかりやすい。

会 長：ア～シまでの項目を縦に並べて、横に説明を入れ、カタカナの前に（ ）を入れて 1～3の優先順位の数字を入れれば、このスペースでも「療育機関」や「一時預かり」等のありとあらゆる項目を追加で入れることも可能。ほかに入れたいものがあるか。

関口委員：就園しておらず、子育て支援事業を毎日利用しているような人には選択肢がない。

会 長：長期休暇中、病気の対応、子育て支援事業について聞いた後、それらの項目を含め

ながら、今後、利用を希望する施設について聞いた方がいいのか。事務局としては、この位置に施設についての質問をしている意図はあるのか。

事務局：p9で平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、その後、p10で土曜・休日や長期休暇の定期的な利用状況について聞き、その後、子育て支援事業について聞いているが、子育て支援事業を定期的なものとして位置付けていないのではないかと。国の示した内容に沿ってやっているが、そのような区割りだと考える。定期的という施設のイメージが強い。

堀川委員：他市町では、定義づけで月単位で定期的利用している事業との注意書きがある。

月単位でと言っているのが、子育て支援事業は含めなくてもいいのではないかと。

会長：子育て支援や一時預かり等は後ろの方のページで聞いている。p9で聞いているのは、月当たり利用料を払っている平日の利用について聞いているので、今、皆さんから見た内容の利用状況については後のページで見えてくるのではないかと。

田村委員：「定期的な教育・保育事業」について「p10以降の項目については含めない」等の説明を入れないと、幼稚園・保育園を利用していない人にはわかりづらい。

関口委員：今後の利用希望については、今後、鹿沼市が取り組むべき事業を聞きたいための質問なので、p9の質問はp15の問25の後に持って行った方がいいのではないかと。

会長：その場合は、一時保育や病児等すべてについての今後の利用希望になる。今回は、定期的に利用する施設とサービスを分けて子育ての支援について考えているので、全部についての利用希望を聞いてしまうと逆にどこに行きたいと思っているのかわからなくなってしまう。例えば、現在はア・幼稚園とイ・幼稚園の預かり保育を利用しているが、今後の利用希望でウ・認可保育所を選択して入れば、そちらを本当は利用したい人がわかる。P9ではハード面（メインとなる子どもの居場所）、p15では子育て支援（サービス）についてなので聞きたい内容が違う。P11とはリンク

させて考えてもいい。

田村委員：分けて考えた方がいい。P10以降で「自宅に来てもらって受けるサービス」についても追加してもいい。

会長：子どもを預けるのか、家に来てもらうのかの選択は親としては、大きな選択になるので、項目を追加することでもっとニーズが見えてくる。問24のア～カの選択肢に追加することは可能。その他にも入れられるところに追加。

会長：サービスを利用しないで、なかなか外に出てこない人たちが一番問題。そういった人たちの自宅の中に入りこめるかが重要。家の中に入れば、聞き取らなくても感じられるものがある。家に来てもらいたいというニーズが見えるような項目を追加したい。

仲田委員：ファミサポでは原則、協力会員の家で見るので、依頼会員の家で見るのは特例のみ。協力会員も人の家に入るのは抵抗がある。

会長：居宅訪問については、p12とp14に項目を追加とする。

会長：ここに書かれていないサービスのニーズがあるか。項目を追加するか。

大貫委員：項目については、その他があるので、そこに詳細は書いてもらえばいいのではないか。

会長：他の市町で子どもの生の声を聞こうとして失敗した。子供たちの手元になかなか届かなかったり、自分が小さいころに行った保育園や幼稚園等、自分の置かれた環境や条件がいいということが多いので、なかなか子どもの生の声を集めるのは難しい。会議の合間に熱心に勉強会をしていることもある。

会長：これは基本となる調査なので、これを機会に幼稚園・保育園で横のつながりを持って、調査で足りない分は追加で各団体で調査して付け加えてくれるといい。

堀川委員：質問の量が多いので、最後まで回答してもらえるようにカヌマンやベリーちゃん等



のイラストを入れたり、「ここで半分」や「あと少しだよ」等のコメントを入れてはどうか。若いお母さんに後回しにされないような工夫ができるといいかなと思う。

武田委員：p12 1年間の対処方法のカッコ内のまちがい、行のずれ等修正してほしい。別刷りの説明資料は子どもたちが無くさないように、色紙で作成するしたり、資料に挟み込んだりなどしてほしい。

佐藤委員：資料3の54番㊸の欲しいと思う子どもの人数を質問に追加してほしい。

高根澤委員：最初の間3の後くらいに入れてはどうか。

茂呂委員：その質問は子供がなかなか出来なくて苦労している人には負担になる質問なので、逆に入れなくてほしい。聞きたい気持ちはわかるが、最初にその質問が出てきたら、そういう人は調査の回答自体を出さなくなることもある。

会 長：今回の調査の趣旨は、結果として子どもが増えてほしいということだが、子どもが欲しいけど、産めない、産みたくない何かの理由がある。その理由が知りたい。地域で対応できるものがあれば、地域で対応しようというもの。対応がうまくいけば結果として子どもが増えていく。

会 長：調査の結果によっては、事業を検討する前にもう一度調査したいことがあるかもしれないが、その場合は追加で行うということで、今回は第1次調査と考えている。鹿沼市でできない調査があれば、団体で行えればいいのかと思う。

会 長：次回は二一ズ調査の集計が出た2月12日（水）13：30～を予定している。

阿久津委員：2月12日より1週間程度前に資料を郵送してほしい。

事務局：了解した。

4．閉会\_\_